

Activity①

以下に示した表(Table)は、東京大学の国費外国人留学生数を表したものである。
この表について、2009年と2016年を比較して分かることなどを英語で説明しなさい。

The Number of Government-Sponsored Exchange Students at Tokyo University

Place of Origin	2009	2016	Change
America	27	25	-7%
Brazil	40	20	-50%
China	230	172	-25%
France	22	16	-27%
India	17	38	124%
Korea	201	124	-38%
Thailand	74	65	-12%
Vietnam	58	13	-78%
TOTAL	1,087	795	-27%

出典：東京大学 国際交流関係統計資料

Question	1	2	3	4	5	6	Total	協力度
Score	/4	/4	/4	/4	/4	/4	/24	◎ ○ △

memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

授業の振り返り

Activity② “The Ideal Partner”について、2つのそれぞれの観点における自己評価を行ってみよう。

ペアで実践！ Impromptu Speaking	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の理解
A 話し手は3秒以上の沈黙をしないよう効果的につなぎ言葉を使ったり、聞き手は質問をして相手の発話を促したりして、 <u>ペアで協力して1分間英語を楽しく話し続けようとしている。</u>	A 「意見」＋「理由」＋「 <u>具体例2つ</u> 」＋「結論」を、「意見」と「結論」は表現を変えて、論理的に話すことができる。
B 話し手は多少の沈黙はあってもつなぎ言葉を使ったり、聞き手は相手の話にうなずいたりして、 <u>ペアで協力しておおむね1分間英語を話し続けようとしている。</u>	B 「意見」＋「理由」＋「 <u>具体例1つ</u> 」＋「結論」を、「意見」と「結論」は表現を変えて、論理的に話すことができる。
C 話し手は沈黙することが多く、聞き手は相手に質問しようとせず、 <u>ペアでの協力が不十分である。</u>	C 「意見」＋「理由」に対する <u>具体例がなく</u> 、「意見」と「結論」には同じ表現を用いて話すことができる。